AUTO PET FOOD SERVER
わんにゃんぐるめ®

わんにゃんぐるめ® CD－600

取扱説明書(保証書付)

山佐時計計器株式会社

はじめに

山佐ペット自動給餌器「わんにゃんぐるめ®」をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。お読みになったあともいつでも見られる所に保管してください。

保証書の所定事項の記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

「わんにゃんぐるめ®」は山佐時計計器株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

本製品をお使いいただく方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
表示と意味は次のとおりです。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が発生する可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●に具体的な内容が描かれています。
	○に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。 ○に具体的な禁止事項が描かれています。
	△は、警告・注意を促す記号です。 △に具体的な警告・注意内容が描かれています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用する 規格外での使用は、火災･感電の原因になります。	**電源コードのプラグを直接コンセントに接続する** たこ足配線などは、火災の原因になります。
動作確認をしてから使用する 本体の操作など、正常に動作することを確認してからご使用ください。動作を確認しないで使用すると、餌詰まりなど、思わぬトラブルの原因となります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
改造しない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理しない 火災･感電･怪我の原因になりますので、お客様による分解や修理･改造は危険ですのでしないでください。修理はお買いあげの販売店、又は弊社までご相談ください。	**電源コードや差し込みプラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** 感電･ショート･火災の原因になります。
幼児の手の届く範囲で使用しない 感電･やけどの原因になります。	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない** 電源コードが破損し、火災･感電の原因になります。
水につけたり、水をかけたりしない ショート･感電･火災の原因になります。	**お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く** 感電･怪我･やけどの原因になります。
異常時(焦げ臭いにおいなど)は、運転を停止して、すぐに電源プラグをコンセントから抜く 異常のまま運転を続けると火災･感電の原因になります。運転を停止して、お買いあげの販売店又は弊社までご相談ください。	**ペットにいたずらさせない** 電源コードをかじったり、本体にじゃれたりすると、思わぬ怪我･感電･火災の原因になります。本体や電源コード等で遊ばないよう、十分にしつけをしてご使用ください。

⚠ 注意

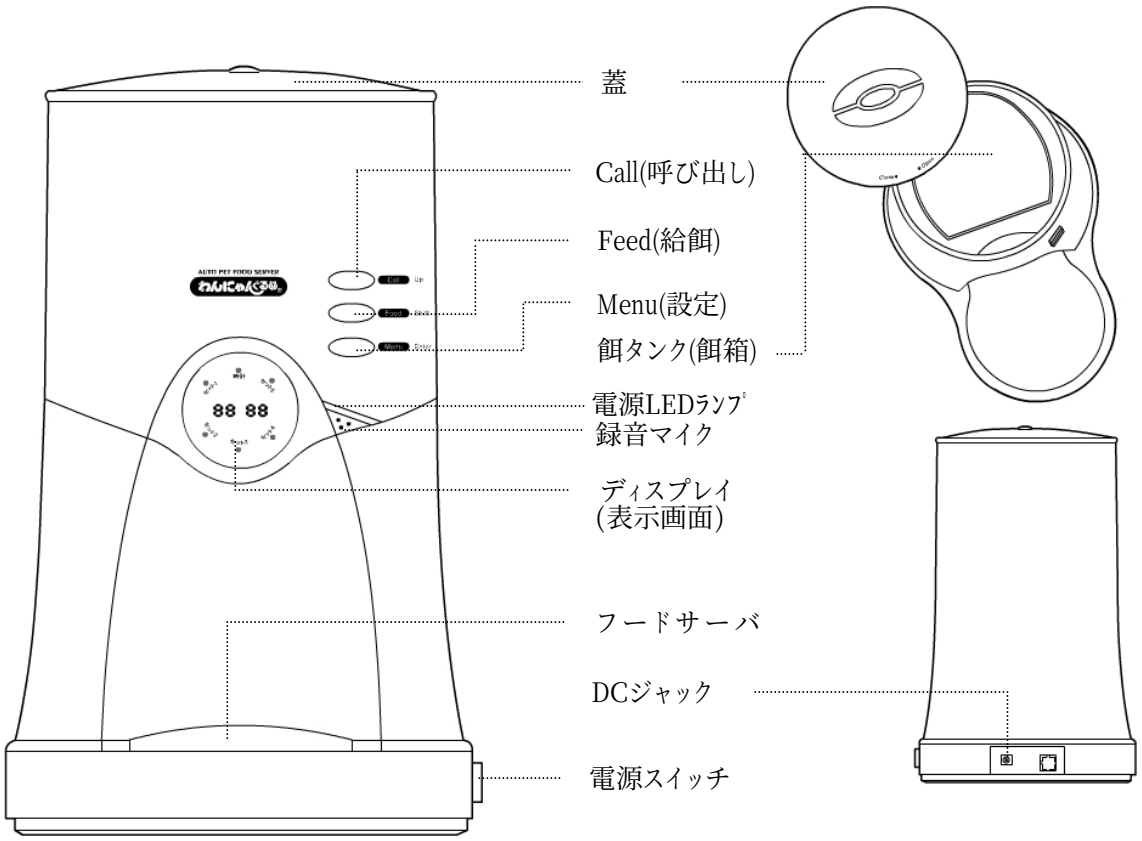
差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電･ショートの原因となり、発火することがあります。	**使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く** 怪我･絶縁劣化による感電･漏電･火災の原因になります。
不安定な場所には置かない 傾いたり、転倒して餌をこぼす原因になります。	**ドライフード(5～10㎜ 程度の粒状)の餌以外は使用しない** 餌詰まりや故障の原因となります。
定期的に掃除する 長期間連続して使用する場合は、餌箱を定期的に掃除してください。掃除せずに使用を続けると、思わぬトラブルの原因となります。	**お手入れをして保管する** 長期間使用しない場合は、ペットフードを全て出して、まんべんなく掃除をして空の状態にして十分に乾燥させて保管してください。放置すると、カビの発生･悪臭･思わぬトラブルの原因となります。
屋外で使用しない この製品は室内据え置き型です。 屋外では使用しないでください。 屋外で使用すると、思わぬトラブルが発生する場合があります。	**蓋を確実に閉める** ご使用の際には、蓋を確実に閉め、電源ＬＥＤランプが点灯していることを確認してください。電源ＬＥＤランプが点滅状態では餌が出ません。

目　次

1. 各部の名称 6
2. アクセサリ 7
3. 本製品の設置 7
4. ご使用いただく前に・お手入れ方法 8
(1) 餌箱 8
(2) 製品の内側 8
(3) 製品の外側部分 8
5. 保管の方法 8
6. 使い方 9
(1) 餌箱の使い方 9
(2) 手動スイッチの使い方 10
7. 本製品の設定（時刻・自動給餌）・システムリセット 11
(1) 時刻設定 12
(2) タイマー及び給餌量の設定 13
(3) 手動給餌ボタンの給餌量の設定 14
(4) 音声録音 15
(5) 音声再生 16
(6) メロディ音量の設定 17
(7) 呼出音の選択 18
8. 保証とアフターサービスについて 19
9. 主な仕様 19
製品保証書 20

1. 各部の名称

（上から見た図）



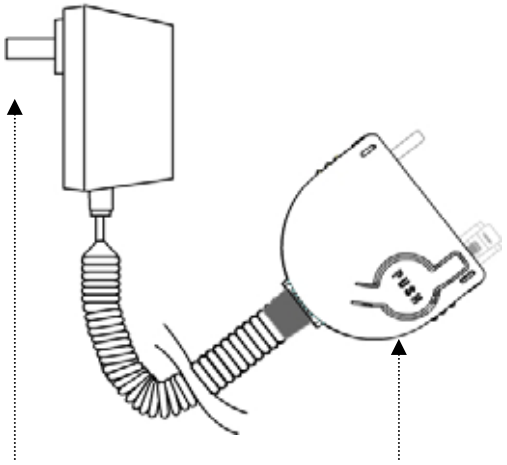
（正面から見た図）　　（後ろから見た図）

注意

電源は AC100V のコンセントを使用してください。
規格外での使用は、火災･感電の原因になります。

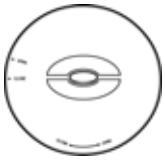
2. アクセサリ

(1)専用ACアダプタ

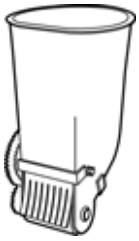


(2)餌トレー (2枚入り)
・本体のフードサーバ部に着脱して
ご使用ください。

(3)蓋



(4)餌タンク(餌箱)(内蔵済)



(5) 取扱説明書/保証書(本書)

3. 本製品の設置

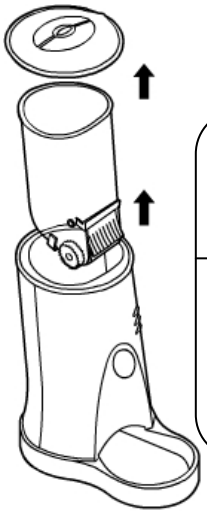
(1) AC電源の接続

1) 本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
2) 専用ACアダプタを本体のDCジャックに接続します。
3) 電源スイッチをONします。
4) 電源スイッチをONした後、電源LEDランプの点灯を確認してください。ランプが点滅する時は蓋が正確に閉まっていないのでもう一度確かめてください。

注意

蓋を閉める際には蓋の方向が正面になるように閉めてください。方向を間違えると電源LEDランプが点滅し、給餌の動作ができませんのでご注意ください。

4. ご使用いただく前に
お手入れ方法



注意

使用中や、使用直後はお手入れをしないでください。

(1) 餌箱

1) お手入れの前に、ACアダプタを本体から抜いてください。また、餌を空にしてください。
2) 餌箱はお手入れがしやすいように取り付け取り外しが可能です。蓋を回して取りはずし、絵のように餌箱を分離します。
3) 掃除の際には、水洗いをお勧めします。 洗剤を使う場合には、中性洗剤を使用し、十分にすすいでください。シンナー、ベンジン、研磨剤など、餌箱をいためる恐れのあるものは、ご使用にならないでください。また、洗う際には、無理な力をかけて餌箱を壊さないよう、ご注意ください。
4) 取り付けの際には、十分に乾かしてから取り付けてください。

(2) 製品の内側

餌箱を取り外し、製品の内側に餌が残っていると思わぬトラブルが生じる可能性がございます。
こまめにハケで掃いたり隙間ノズルなどを使用し掃除機で吸い取ってください。
また、本体を軽く振ってみて隙間などに餌の残りがないかもご確認下さい。

本体の内側は、精密部品や複雑な配線などが存在するため、**水洗いは絶対に行わないでください。**
但し、餌の通路は乾拭きが可能です。

(3) 製品の外側

本体外側、フードサーバ部、蓋上面部は、水を含ませて固く絞った布でふき取った後、乾拭きしてください。薄めた中性洗剤を含ませたものを使うことも可能ですが、その際には、その後に、水を含ませて固く絞った布で拭き取り、最後に、乾拭きしてください。
また、DCジャック部などの電気に関わる部分は水濡れさせないようにご注意ください。

5. 保管の方法

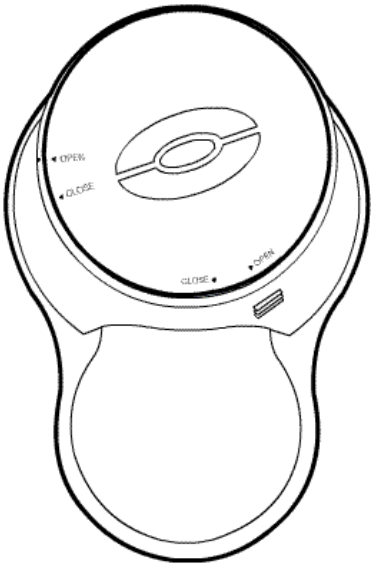
製品を長期間使用しない場合は、
・電源をOFFにしてACアダプタを外してください。
・餌箱内に餌が残っていないか十分に確認してください。
・手入れした後、水をよく拭き取り、本体をかげ干ししてください。
・直射日光を避け、湿気の少ないところで保管してください。

※清掃をご希望のお客様には有償にて賜っておりますので弊社お客様ｻｰﾋﾞｽへお問い合わせ下さい（TEL.03-3792-1364）

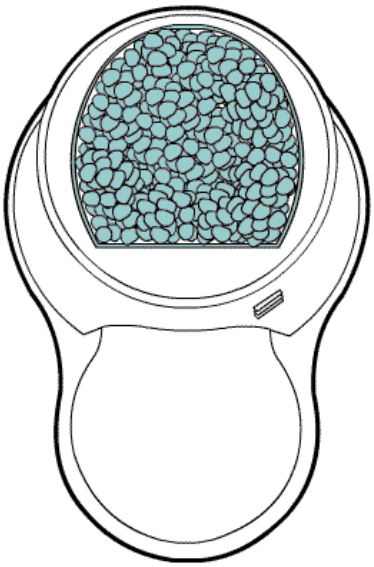
6. 使い方

※7ページ 「3.(1) ＡＣ電源の接続」の確認をし、下の操作を行ってください。

(1) 餌箱の使い方



1)蓋の「OPEN」という文字の矢印が一致するように反時計方向にまわして蓋を開けます。



2)粒状のドライフードを餌箱に入れます。

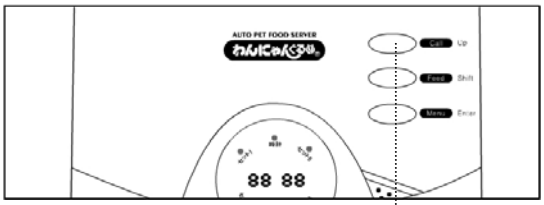
※約1680cc(約７００g)の餌が入りますが形状や比重によっては、多少異なります。

3)蓋の「CLOSE」という文字の矢印が一致するように時計方向にまわして蓋を閉じます。

注意

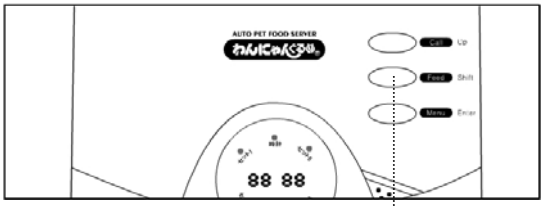
使用可能な餌は、5～10mm程度で粒状のドライフードですが、形状や比重によって、1度に出る量が異なります。
※使用するフードで、一度ご確認の上、設定して下さい。

(2) 手動スイッチの使い方



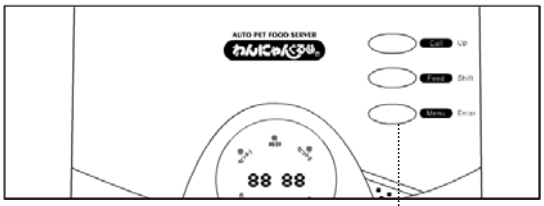
1) Call(呼び出し)　　Call

このボタンを約3秒押すと、メロディが流れます。
このボタンは主に、メロディが流れると餌が出てくることをペットに学習させるときに使います。



2) Feed(手動給餌)　　Feed

Feedのボタンは餌を手動であげる時に使います。
設定された餌をあげるためには約3秒押すと給餌が始まりますので、ボタンから手を放してください。
また、押し続けることにより連続的に給餌することもできます。



Menu

3) Menu(設定)　**自動設定として使用する場合**

Menuボタンを約3秒押すと時間及びタイマー設定ができる設定モードに入ります。
詳しい内容は7.本製品の設定（時刻・自動給餌）のページを参考にしてください。（11ページから18ページ）

注意

給餌設定量の参考例　（**目安となっております**）（餌タンクの下側の回転部が回転することにより一定の設定量を給餌します）

給餌設定	給餌量(cc)
F-1	約12cc(約5g)
F-2	約24cc(約10g)
F-3	約36cc(約15g)
F-4	約48cc(約20g)
F-5	約60cc(約25g)
F-6	約72cc(約30g)
F-7	約84cc(約35g)
F-8	約96cc(約40g)
F-9	約108cc(約45g)
F10	約120cc(約50g)
F11	約132cc(約55g)
F12	約144cc(約60g)
F13	約156cc(約65g)
F14	約168cc(約70g)
F15	約180cc(約75g)
F16	約192cc(約80g)
Off	給餌しません

※餌の形状や比重によって、給餌量は異なりますので、ご了承願います。使用するフードで一度ご確認の上、設定して下さい。
また、餌の種類や電圧によって、モーターの回転数にばらつきが生じ、餌の排出回数が増減する場合があります。給餌量を厳密に管理される場合は、手動で排出回数をご確認の上給餌量を設定してください。

7. 本製品の設定(時刻・自動給餌)・システムリセット

本製品を正しくご使用いただくために

●設定時の注意事項

①電源スイッチを入れることにより、作動モード(給餌可能状態)が表示されます。

②本製品をご使用するにあたり、現在時刻の設定が必要となります。

③メーカー出荷時に初期設定として、セット1～3にタイマー(08:00/14:00/19:00)が設定されています。 ※各設定において給餌量をOffにしていただくと、自動給餌しなくなります。

④セット1～5には別の時刻を設定してください。(初期設定と重ならないよう注意してください)

現在時刻と給餌時刻の設定の際に、時(00～23時)の左から二桁目が「4～9」のときには、一番左の桁は「2」に設定することができません。左から二桁目を「0～3」に設定した上で、一番左の桁を「2」に設定してください。

●ご使用時の注意事項

①ご使用の際には、蓋を確実に閉め、電源LEDランプが点灯していることを確認してください。電源LEDランプが点滅状態では餌が出ません。

②使用可能な餌は、5～10mm程度で粒状のドライフードですが、形状や比重によって、1度に出る量が異なります。 ※ご使用するフードで、一度ご確認の上、設定してください。

③餌の種類や電圧によって、モーターの回転数にばらつきが生じ、餌の排出回数が増減する場合があります。給餌量を厳密に管理される場合は、手動で排出回数をご確認の上、給餌量を設定してください。

④餌タンク及び本体内部は、定期的に掃除してください。

⑤本製品は屋外で使用しないでください。

●故障かな？と思ったら・・・

次のような場合、システムリセットを行なってください。

♦初めてご使用になる場合　♦長期間ご使用しなかった場合　♦異常表示が発生した場合
♦現在時刻が大幅に狂う場合　♦餌が出なくなった場合　♦その他正常に作動しない場合

システムリセット：3つのボタン(Call, Feed, Menu)を同時に長押しすると、ピーと言うブザー音が鳴り、初期設定に戻ります。

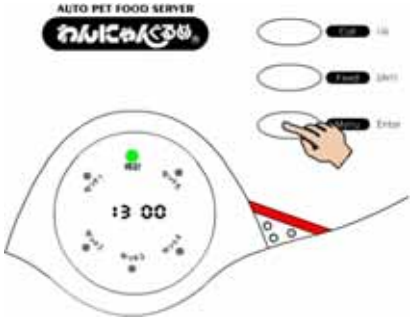
初期設定一覧表

タイマー設定	給餌時刻	給餌量
セット1	08:00	F-1
セット2	14:00	F-1
セット3	19:00	F-1
音量	VOL.2	
音声パターン	Snd	

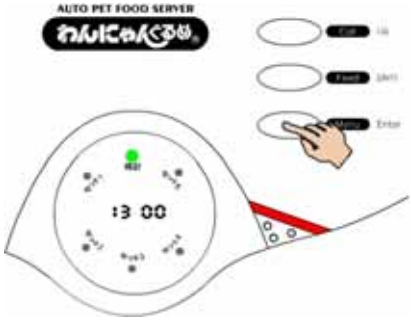
※システムリセット後は、現在時刻・給餌時刻・給餌量等を再設定してください。
録音した音声は消去されますので、再度録音して下さい。

(1) 時刻設定

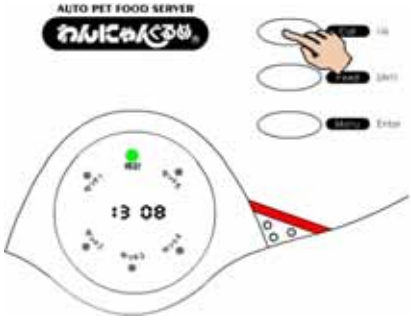
24時間制となっております



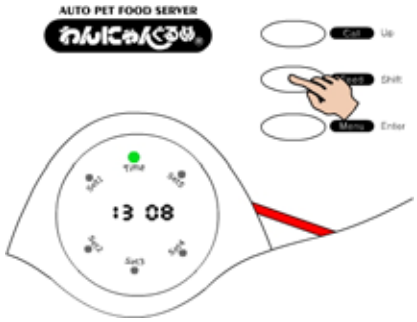
1) 作動モードの状態で、Enterボタンを3秒以上押すと時計部の緑ランプが点き、設定モードに入ります。



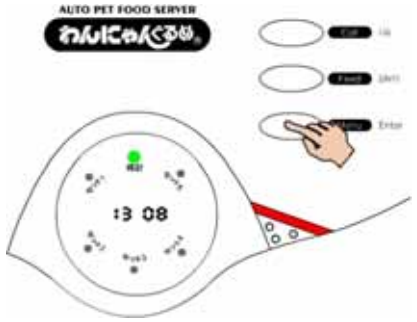
2) この状態で、Enterボタンを短く押すと設定されている時刻の一桁目の部分が点滅します。左側より時計を合わせて下さい。



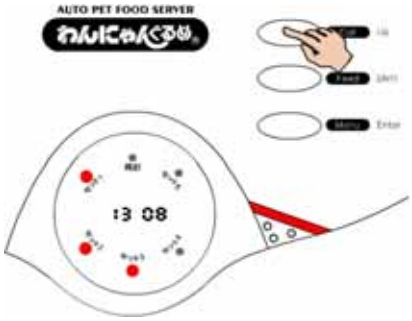
3) Upボタンを押して現在時刻を合わせます。



4) Shiftボタンを押して隣の桁へ移動させます。時･分を 3)･4)の動作を繰り返して、現在時刻を設定してください。

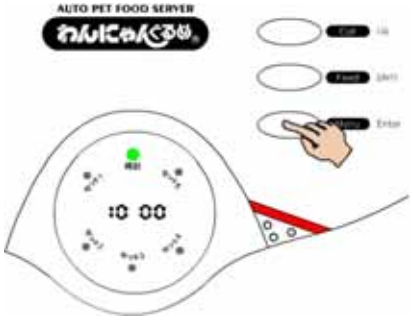


5) 時刻設定が終わった後、Enterボタンを押すと設定が完了します。

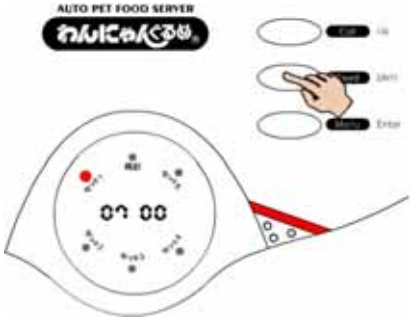


6) 設定が終わった後、Upボタンを押すと、時計の動作が始まり、作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

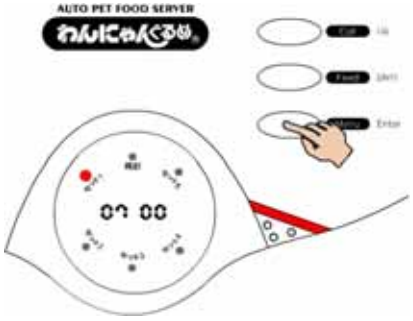
(2)タイマー及び給餌量の設定



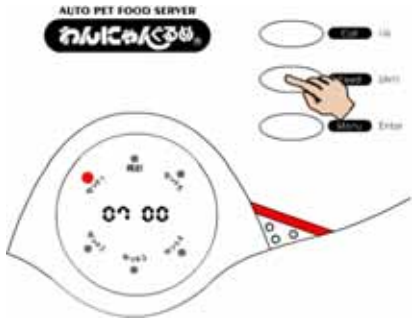
1)作動モードの状態で、Enterボタンを3秒以上押すと時計部の緑ランプが点き、設定モードに入ります。



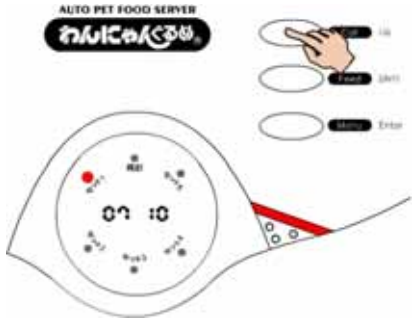
2) Shiftボタンを押すとｾｯﾄ1～5に移動できます。例えばｾｯﾄ1へ移動するとｾｯﾄ1部の赤ランプが点き、設定の時刻が表示されます。



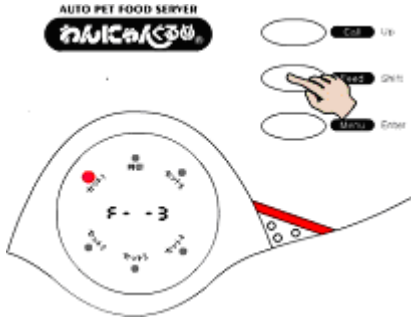
3) この時、Enterボタンを押すと赤ランプと設定時刻の一番目の部分が点滅します。



4) Shiftボタンを押して設定しようとする時と分へ移動すると移動した部分が点滅します。

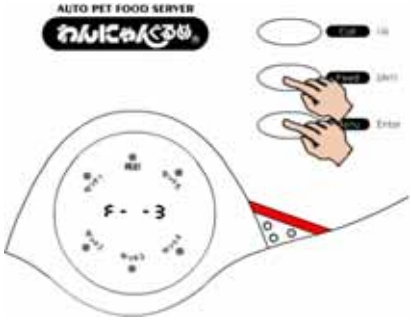


5) 設定しようとする部分でUpボタンを押して時刻を設定します。これを繰り返します。
給餌時刻の分単位まで設定した後、Shiftを押すと、**F**_と出ます。Upボタンで餌の量を決め、Enterを押すと、ｾｯﾄが完了となります。〔P.10の注意事項〔給餌設定量の目安〕を参照してください〕

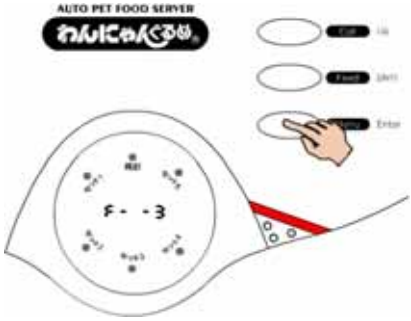


6) 設定が終わった後、Upボタンを押すと、時計の動作が始まり、作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。
※ｾｯﾄ2以降は、同ページ1)～5)の繰り返しで、最後にUpボタンを押すと、作動モードに戻ります。

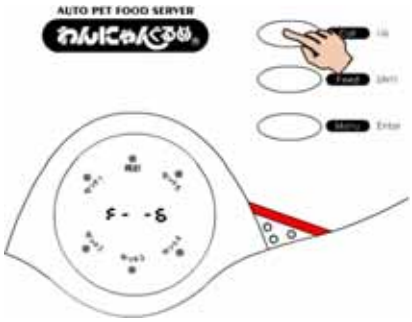
(3) 手動給餌ボタンの給餌量の設定



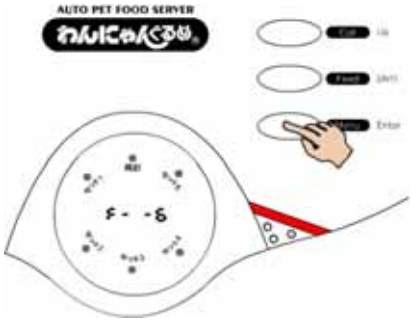
1) 作動モードの状態で、EnterボタンとShiftボタンを同時に3秒以上押すと絵のように基本設定の給餌量が表示されます。



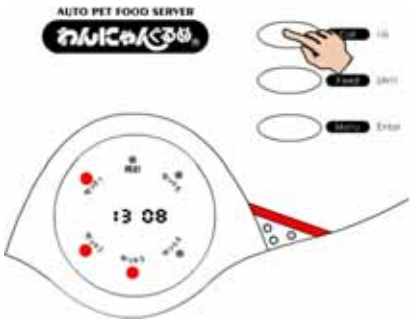
2) Enterボタンを押すと設定された給餌量が点滅します。



3) Upボタンを押して給餌量を選択します。
〔P.10の注意事項（給餌設定量の目安）を参照してください〕

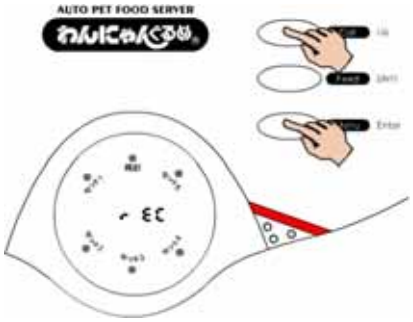


4) 選択したらEnterボタンを押して設定を決めます。

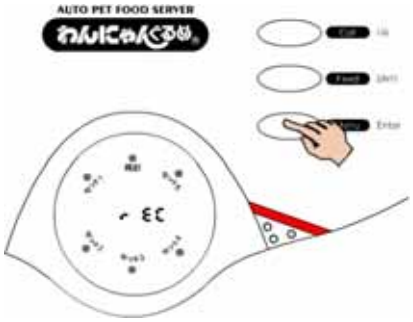


5) 設定が終わった後、Upボタンを押せば設定したタイマーのLEDに赤色のランプが点き、設定モードから作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

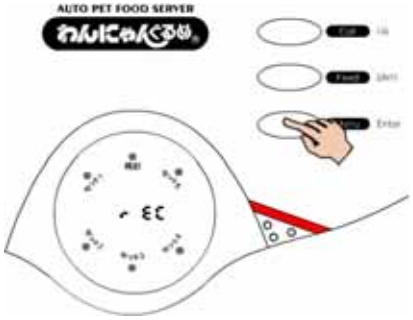
(4) 音声録音



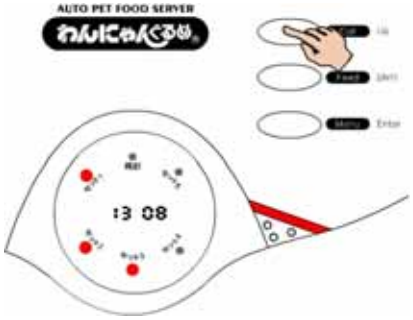
1) 作動モードの状態で、EnterボタンとUpボタンを同時に3秒以上押すと**rEC**が表示され、設定モードに入ります。



2) この時、Enterボタンを押すと「ピッ」と ビープ音とともに**rEC**の文字が点滅しながら録音が始まります。録音可能時間は10秒ぐらいです。
※録音マイクに近づいて録音してください。
（3つ穴の部分が、録音マイクです）

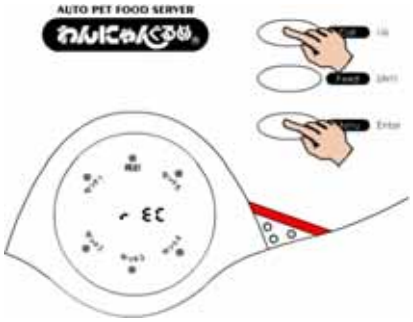


3) Enterボタンを押すと録音が終わります。録音は繰り返し行うことが可能ですが、再録音すると前の録音内容はすべて消去されます。
※ 録音の結果を確認するためには「(5) (16ページ)音声再生」を参考にしてください。

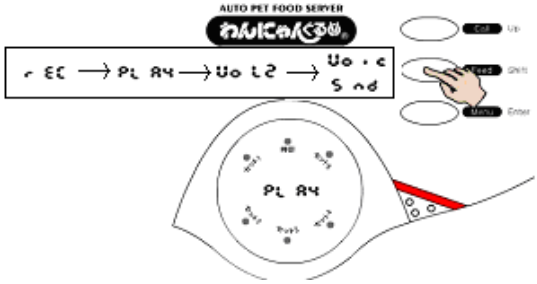


4) 録音が終わった後、Upボタンを押せば設定したタイマーのLEDに赤色のランプが点き、設定モードから作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

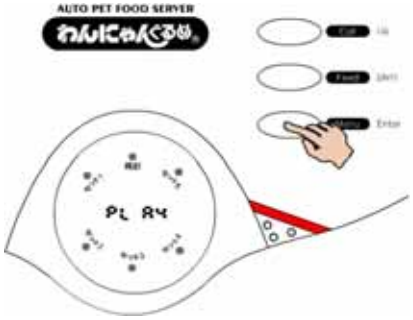
(5) 音声再生



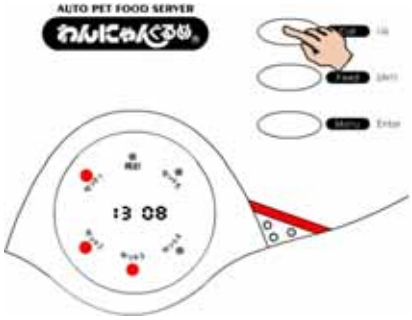
1) 作動モードの状態で、EnterボタンとUpボタンを同時に3秒以上押すと**rEC**が表示され、設定モードに入ります。



2) Shiftボタンを押すと絵のような順序で文字が変わります。この中で**PLAY**を選びます。

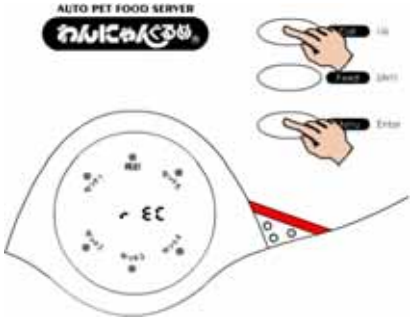


3) 選択した後、Enterボタンをおせば、**PLAY**の文字が点滅しながら、録音された音声が再生されます。再生が終わると点滅も止まります。

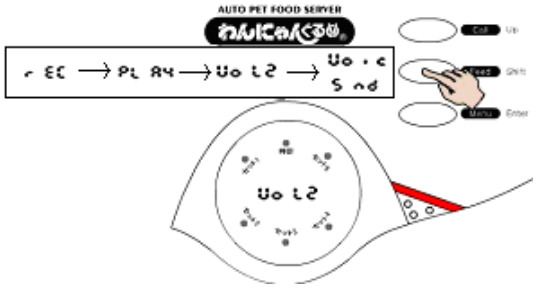


4) 再生が終わった後、Upボタンを押せば設定したタイマーのLEDに赤色のランプが点き、設定モードから作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

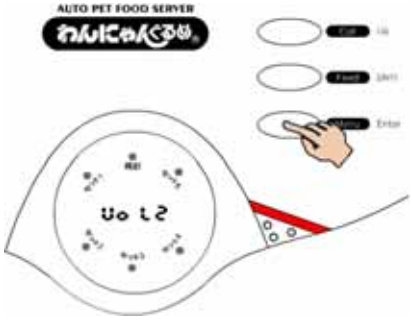
(6) メロディ音量の設定



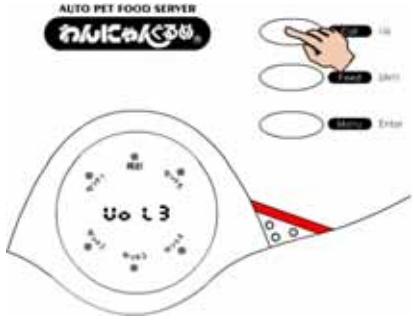
1) 作動モードの状態で、EnterボタンとUpボタンを同時に3秒以上押すと**rEC**が表示され、設定モードに入ります。



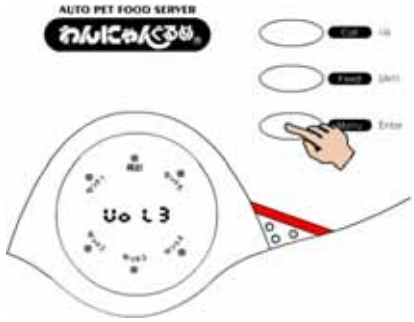
2) Shiftボタンを押すと絵のような順序で文字が変わります。この中で**VolX**(Xは設定の音量値)を選びます。(5段階の選定が出来ます)
※音量調節はメロディだけ可能です。



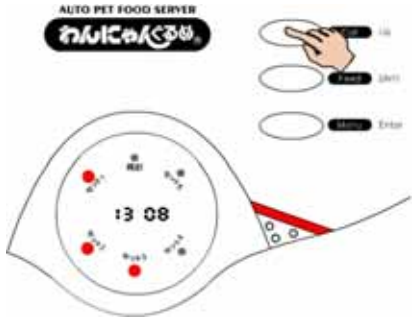
3) 選択した後、Enterボタンを押すと**Vol0～4**が点滅し、メロディが流れます。



4) この時、Upボタンを押して0～4の中からお好みの音量を選びます。
※ 0はミュートを意味します。(音が出ません)

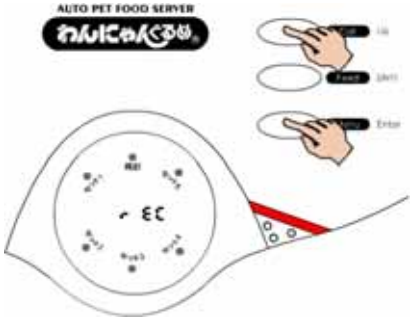


5) 音量選択後、Enterボタンを押して設定を決めます。
※ 音量調節はメロディだけ可能です。

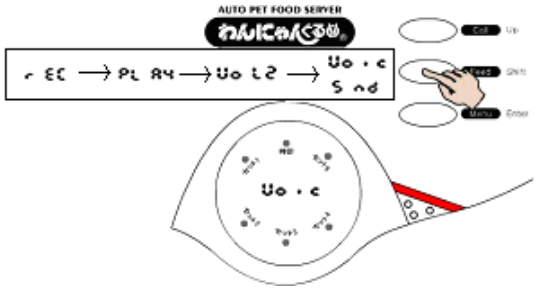


6) 設定が終わった後、Upボタンを押せば設定したタイマーのLEDに赤色のランプが点き、設定モードから作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

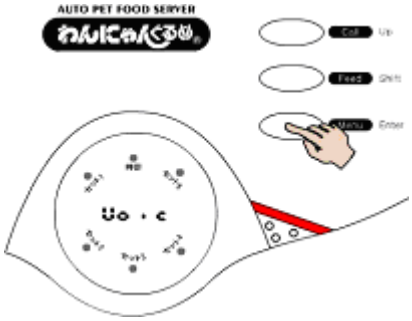
(7) 呼出音の選択



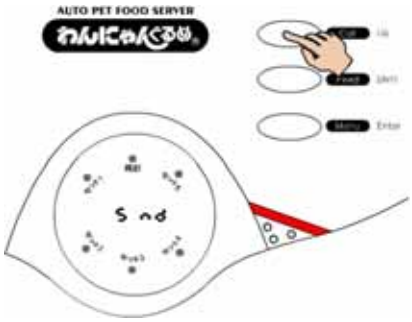
1) 作動モードの状態で、EnterボタンとUpボタンを同時に3秒以上押すと**rEC**が表示され、設定モードに入ります。



2) Shiftボタンを押すと絵のような順序で文字が変わります。この中で**Voic**(または**Snd**)を選びます。

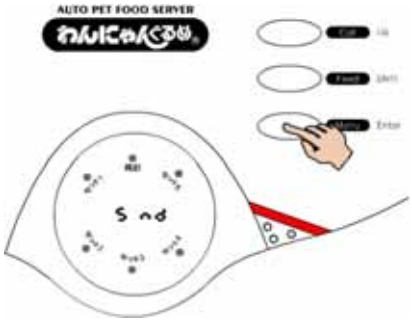


3) 選択した後、Enterボタンを押すと**Voic**(または**Snd**)が点滅します。

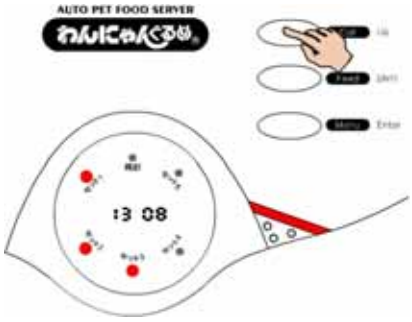


4) この時、Upボタンを押して**Voic**または**Snd**の中で呼出音を選びます。

※ **Voic**:録音したもの、**Snd**: メロディ



5) 選択後、Enterボタンを押して設定を決めます。



6) 設定が終わった後、Upボタンを押せば設定したタイマーのLEDに赤色のランプが点き、設定モードから作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。

8.保証とアフターサービスについて

●この製品には保証書が添付されています（取扱説明書の一部）。
●保証書の所定事項の記入と「製品保証書」の記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
●調子が悪いときは、もう一度この説明書を読んでお調べください。
●それでもなお具合の悪いときは、お買い上げ店、または弊社にご相談ください。
①保証期間中は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。
②保証期間経過後は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償で修理させていただきます。
●保証・アフターサービスについてご不明な点は、弊社にお問い合わせください。

9.主な仕様

機種番号	CD－600 （BE） ベージュ
電源	AC100V 50/60HZ （アダプタ12V 1A）
給餌設定	最大24時間（1分単位最大5回分）
時計精度	±7秒／日
材質	本体：ABS樹脂 トレー：ポリカーボネート
使用温度範囲	0℃～＋50℃
外形寸法	225×325×366mm（幅/奥行/高さ）
質量	約3kg
付属	ACアダプタ(ケーブル長さ約1．8m) （噛みつき防止対応）

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

お問い合わせ

山佐・お客様サービス室 TEL.03－3792－1364
受付時間／9：00～17：45（土・日・祝祭日は除く）

製品保証書(1年保証)

この製品保証書は 山佐時計計器株式会社が定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。保証期間はお買い上げ日より１年間とさせて頂きます。

製品名	わんにゃんぐるめ®CD－600
保証期間	ご購入年月日 20　年　月　日より1年間
ご購入販売店	

無償サービス

保証期間内において、下記の場合には無償サービスと致します。

- 正常な使用をしていたにもかかわらず、故障が発生した場合は、無償修理いたします。
- 製品の欠陥で修理できない場合は、製品交換致します。

有償サービス

故障の疑いがある場合には、弊社サポートまでお問い合わせください。
保証期間内でも下記の場合は原則として修理費用をご負担いただきます。

- 操作上の誤り、及び弊社によらない修理や改造による故障及び損傷。
- ご購入年月日、ご購入販売店名、ご購入販売店の捺印のない場合。
- 火災、風水害、地震などの天災による故障及び損傷。
- お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。
- 保証書をご提示されない場合。

<注意>

- 本保証書は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
- 本保証書は、本製品を使用したことによって万が一お客様が被った被害等を補償するものではありません。

山佐時計計器株式会社
東京都目黒区中央町1－5－7　TEL 03-3792-4111